

## 図書館評価について

さいたま市図書館ビジョンの4つの基本的方向性を評価の目標として、令和3年度の指標と目標値を設定しています。各指標及び目標値は、令和3年3月に策定した「図書館ビジョン（第2期）」にあわせて見直しを行いました。

## 令和3年度目標、指標及び目標値

## 基本的方向性 1 知りたいにこたえる

目標	指標	目標値
(1)レファレンスサービスの充実による市民の課題解決の支援	レファレンス受付件数	128,000件
(2)市民の課題解決に役立てられる資料の提供	知識の獲得に対する図書館資料の貢献度	3.81ポイント
	課題解決に対する図書館資料の貢献度	3.57ポイント
	新しいチャレンジに対する図書館資料の貢献度	3.65ポイント
	個人的な楽しみに対する図書館資料の貢献度	3.86ポイント
(3)図書館利用に障害のある方への支援	バリアフリー資料の所蔵数	24,000点
(4)専門的職員の養成による図書館サービスの質の向上	図書館専門研修の実施・派遣回数	305回
(5)図書館評価と市民意識の反映	利用者満足度	91.5%

## 基本的方向性 2 本と人をつなげる

目標	指標	目標値
(1)市民の多様な要求にこたえる資料の充実	蔵書新鮮度	3.32%
(2)情報発信による図書館利用の促進	貸出総数	9,798,000点
(3)講座等の催しと市民の交流の場の提供	講座等の満足度	89.0%
(4)資料の紹介による本との出会いの創出	テーマ資料展示の実施回数	930回
(5)安全で快適な環境の整備	防災・消防訓練の実施回数	38回

## 基本的方向性 3 子どもの豊かな心と生きる力をはぐくむ

目標	指標	目標値
(1)子どもの世界をひろげる資料の紹介	子ども向けブックリストの作成数	48点
(2)子どもが本に親しむ機会の提供	おはなし会の開催回数	1,090回
(3)家庭・学校等との連携による子どもの読書活動への支援	読書が好きな子どもの割合(小学生)	81.0%
	読書が好きな子どもの割合(中学生)	71.8%
	読書が好きな子どもの割合(高校生)	81.8%

## 基本的方向性 4 つながりから地域の未来をひらく

目標	指標	目標値
(1)地域の歴史と文化の保存	地域・行政資料の蔵書数	163,200冊
(2)市民との協働による地域交流の活性化と永続的な交流の場の提供	ボランティアとの協働事業数	110事業
(3)市の各部署との連携による市民生活の向上	さいたま市との連携部署数	28部署
(4)県・他自治体・民間等との連携による市民の知的活動への支援	さいたま市以外の自治体及びNPO等民間との連携機関数	19機関

## ② 図書館評価

## 令和元年度図書館評価一覧

『令和2年度さいたま市図書館評価報告書（令和元年度事業対象）』より

目 標		評価	指 標
知的 好奇心に 応える 図書館	① 図書館利用の普及とPR及び 情報発信の強化	B	新規登録者数=a 貸出総数=b 来館者数=a 貸出利用人数=b 市民一人当たりの貸出数=b メールマガジン配信件数=a パブリシティ件数=c
	② 幅広く計画的な資料の収集・保存	B	資料回転率=a 雑誌タイトル数=b 新聞タイトル数=b 所蔵タイトル数(図書)=b 市民一人当たりの資料数=b
	③ 地域の歴史と文化の保存	C	地域・行政資料の蔵書数=b デジタル化してインターネット公開した地域資料の閲覧回数=c
	④ ICT(情報通信技術)を活用した サービスの充実	A	ホームページコンテンツの充実=a インターネット延利用人数=b 自動貸出機の整備=a
	⑤ 文化事業の開催	B	講座等の実施回数=a 講座等の参加人数=b 映画会の開催回数=b 映画会の参加人数=b 展示会の開催回数=a
生きる 力を支 える 図書館	⑥ あらゆる世代に向けたサービスの 充実	B	テーマ資料展示の実施回数=b 各世代向けの本の紹介資料作成=b
	⑦ レファレンスサービスの充実	A	レファレンス受付件数=b レファレンス事例の公開件数(年間)=a 職員レファレンス研修の開催回数=a パスファインダー(調べ方案内)作成数=a
	⑧ 地域の課題解決	B	町おこしや地域活性化、地域コミュニティなどの課題 に関わる資料の市民への提供=a 市の各所管からの業務に対する問合せ件数=c
	⑨ 生活支援サービスの展開	A	日常生活での課題解決に関わる分野の情報提供の 取組=a
	⑩ バリアフリーサービスの充実	C	音訳資料・点訳資料の所蔵数=b 対面朗読回数=c 宅配サービスの貸出数=b
	⑪ 多文化サービスの充実	C	外国語資料の受入点数=d 多文化サービスに関わる展示=a
	⑫ 子ども読書活動への支援及び学 校図書館との連携	B	小学生の不読者の割合=c 中学生の不読者の割合=c 高校生の不読者の割合=b 子ども向け行事開催数=b 読み聞かせや本に関する講座・講演会の実施=a 子ども向けの資料案内の作成=a 学校・保育園等に対する訪問・招待実施回数=b
市民 ととも に 歩む 図書館	⑬ 図書館評価と市民意識の反映	A	図書館評価の実施と公表=a 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」の実 施と公表=a
	⑭ 市民との協働	B	ボランティアとの協働事業数=b ボランティアとの協働事業の延実施回数=a
	⑮ 関連機関(公共機関・民間機関・ NPO)との連携	A	連携事業の連携先機関数=a 職場体験の受入件数=a
	⑯ 地域の特色を生かした運営	A	地域の特色を生かした取組=a
誰も が安 心し て 館	⑰ 親しみやすい図書館づくり	B	「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」におけ る満足度=b
	⑱ 職員の資質・能力の向上	A	組織内研修の実施回数=a 派遣研修の件数=a
	⑲ 専門的職員の配置	A	専門性の向上につながる研修の受講=a 専門性の向上につながる研修への講師等としての派 遣=a
	⑳ 施設・設備の充実	A	施設・設備の計画的な改修及びバリアフリー化の推進 =a
	㉑ 持続的で安定した図書館の運営	B	業務マニュアルの整備・見直し=a 財源確保や経費節減につながる取組=b
	㉒ 危機管理体制の強化	A	職員の危機管理意識を高める取組=a

評価基準

A—達成した B—ほぼ達成した C—あまり達成できなかった D—達成できなかった